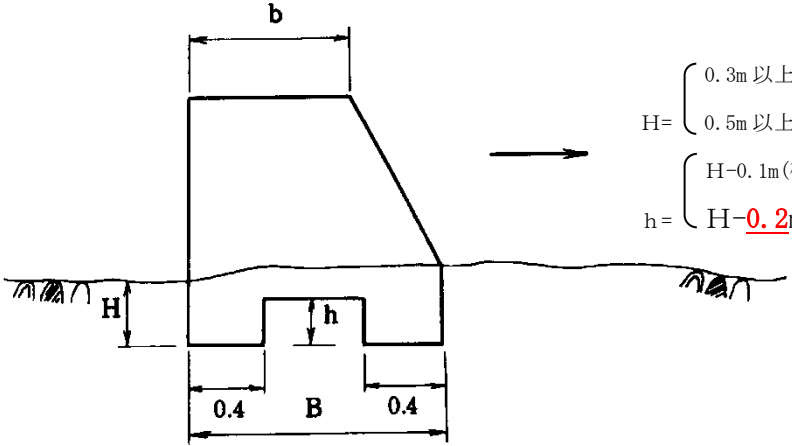
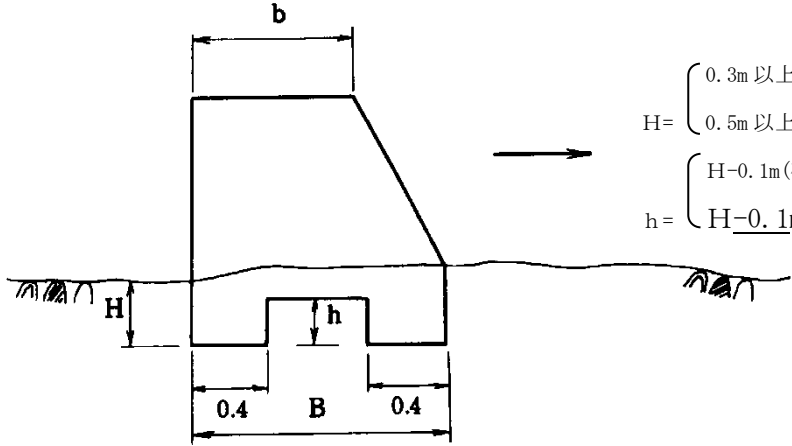


農地・農業用施設・海岸等 災害復旧事業の復旧工法（2014年版）の正誤表

本書において、以下のとおり誤りがありましたので、お詫びして訂正いたします。

(正)	(誤)
<p>第5章 頭首工 (P221)</p> <p>5 岩着タイプにおける基礎の設計(フィックスドタイプ)</p> <p>岩着が可能で、規模が小さい頭首工の場合 (<math>b &lt; 2\text{m}</math>) は、図 5-5-5 によるが、大きい断面の場合は別途安定計算を行うものとする。</p>  $H = \begin{cases} 0.3\text{m 以上 (硬岩)} \\ 0.5\text{m 以上 (軟岩)} \end{cases}$ $h = \begin{cases} H - 0.1\text{m (硬岩)} \\ H - \underline{0.2}\text{m (軟岩)} \end{cases}$ <p>図 5-5-5 岩着タイプの基礎</p>	<p>第5章 頭首工 (P221)</p> <p>5 岩着タイプにおける基礎の設計(フィックスドタイプ)</p> <p>岩着が可能で、規模が小さい頭首工の場合 (<math>b &lt; 2\text{m}</math>) は、図 5-5-5 によるが、大きい断面の場合は別途安定計算を行うものとする。</p>  $H = \begin{cases} 0.3\text{m 以上 (硬岩)} \\ 0.5\text{m 以上 (軟岩)} \end{cases}$ $h = \begin{cases} H - 0.1\text{m (硬岩)} \\ H - \underline{0.1}\text{m (軟岩)} \end{cases}$ <p>図 5-5-5 岩着タイプの基礎</p>